





ぐーふお だより

第15号

編集・発行

社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
宇都宮市中岡本町3178-3
TEL 028 (673) 0002
FAX 028 (671) 0785
✉ kawachi-yotsubakai@rouge.plala.or.jp
🌐 <http://kawachi-yotsubakai.or.jp/>
印刷/藤崎印刷株式会社

それぞれの自立を目指して

施設長 和久井 隆

河内四つ葉会に赴任して、早いもので一年が過ぎようとしています。皆様からの応援をいただいて、今年度新たなことに取り組んでおります。例えば、作業面ではパチンコや遊具機の基板の解体分別、国産花きイノベーション推進事業を活用した花育、歯周病等に効果のある口腔ケア剤の販売などを導入しました。また、絵画クラブや音楽クラブの再開もできました。これらは、全て協力者があったること。とてもありがたく感謝しております。

そして、これらの取り組みの一端を多くの人々に知っていただきたいと思います、法人のホームページに動画集をアップしました。パソコンやスマートフォンをお持ちの方は、こちらのQRコードから簡単にご覧いただけます。ぜひ、皆さんが充実した日々を送っている姿を垣間見てください。

新たなことに挑戦するのは、色んな不安がつきまといます。でも、やってみないと、行ってみないと、出会えない景色があります。一つ一つ新たな経験を増やして行くことが自信につながり、自立の助けになるはずですよ。

日々の挑戦から、私たちはきっと成長して、それぞれの自立に近づくと信じて、まだ見ぬ景色を見に出かけましょう。



「さまざまな場面での何げない交わりを通して」

常務理事兼事務長 角田 孝之

事務長としてお世話になりましたからお陰さまで間もなく二年が過ぎようとしています。

事務室の留守を預かる立場上、利用者みなさんと親しく交われる機会は送迎やイベントの時を除くとそれほど多くはありません。

ただ、いつの頃からか、何がきっかけだったのか定かではないのですが、昼休みになると私にもトランプへの誘いの声がかかるようになりました。昼食後のたった15分20分の「お遊び」なのですが、日に日にやり手が増えてきて、最近は利用者だけで楽しそうに「ババ抜き」をしています。「最初はグー、じゃんけんぽん」で順番を決め、一ゲーム上がる毎に点数付けと、罰ゲームも始まりました。

はじめはルールもわからずに加わっていた(?)利用者には、自然と手助けしてくれる仲間も現れ、得点記録専門の協力者もできました。

こんな交わりをしばらく続けてきた結果なのだろうか。と自問自答してみるのが、今年の年明けには、悲しくも嬉しい出来事がありました。不覚にも流行性感冒に感染し、「寝正月」を過ごして初出勤した1月9日水曜日の朝のことでした。利用者の方の何人かが、わざわざ事務室のドアを叩いて、新年のご挨拶にきてくれたのです。病み上がりの身体を気遣い、やさしく声をかけてくれる方もありました。

出鼻をくじかれ意気消沈していた自分でしたが、そんな私を、ここから励ましてくれる多くの仲間ができたんだと思う、思わずニンマリしたのでした。

30年度の行事・地域との交流のふりかえり

- 4月 ドライブ外出（花見代替）
- 5月 宿泊訓練 ～福島・茨城方面～
- 6月 施設見学
- 7月 なかがわ水遊園（山あげ祭代替）
- 8月 夏まつり
- 9月 うつのみやふれあい文化祭
- 10月 かわちハートフル体育祭
グーフォ祭
- 11月 障害者文化祭
かわちふるさとまつり
- 12月 もちつき&クリスマスコンサート
クリスマス会
- 1月 初詣・新年会
- 3月 利用者自治会主催ボウリング



▲飲み水ができる仕組みをお勉強



▲宿泊訓練では大宴会で楽しめました



▲地域行事の運動会に参加



▲台風で山あげ祭の代わりに水遊園へ



▲クリスマス会はケーキも手作り！



▲グーフォ祭のビンゴで大盛り上がり

30年度 トピックス

●新たな職員が着任しました！

【施設長】和久井 隆、【看護師】味野和 博子、【よつば荘サビ管】高野 健次
【よつば荘世話人】荒井 里美、鈴木 春美

●「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2018

3名の方が入賞されました。おめでとうございます！

【審査委員特別賞】吉永詩織さん、尾上絵美さん

【わく・わく賞】坂本陽子さん

●ご寄付を頂いた方・団体のご紹介（匿名希望の方を除く）（順不同）

環境整備株式会社様、栃木銀行様、フードバンク宇都宮様、保護者の皆様
五月女 純様、近隣農家 田村様、飯野 達央様、長谷川 隆様、濱 英祐様
磯町 三男様、四関 勲様、門倉 昭子様、千代 和子様、株式会社ひびき様

●クラブ活動に新たな先生方をお迎えする！

☆音楽クラブ・・・松本 薫さん

☆絵画クラブ・・・大橋史哲さん

●県の国産花きイノベーション推進事業に初参加！

岡本幼稚園児と一緒に花を植え、初めての交流を図りました！

●「福祉相撲号」元気に運行中！！

戸祭方面の送迎や外出、納品等で活躍しています！



▲新1号車として活躍中



▲新採の職員をよろしくお願いします



▲音楽クラブの先生



▲絵画クラブの先生

各作業グループ報告

農園芸



30年度に新しく始めた作業は二つあり、一つ目は県の「国産花きイノベーション推進事業」の一環として、今まで交流が無かった岡本幼稚園児と一緒にプランターに花を植える作業を行いました。利用者さんは園児に花の植え方を教える立場になってもらいました。職員は初めての授業参観日の親御さんのような心境で、ドキドキしながら見ていました。作業が始まると花の苗を植える事に苦労している園児には手を添えて教えていたり、どうしても分りやすく伝えられるのかを考えたり、行錯誤しながら教えていました。それを見て、改めて利用者さんの成長を感じました。完成したプランターは岡本幼稚園・古里中学校・河内図書館・地区市民センターに置かせて頂きました。

二つ目はパチンコ台の解体作業を行いました。最初は慣れない作業で不安定になってしまう利用者さんもありましたが、数をこなしていくうちに慣れて、今では解体作業にも積極的に取り組んでいます。解体作業の良い所は、短時間で成功体験が何回もできる事です。それにより利用者さんの自信に繋がります。作業に取り組み始める時間が長くなったように感じています。

今年も生き物を育てる事の楽しさ難しさを通して、利用者さん一人一人が豊かな感性を持てるように支援していきたいと思っています。



パン



31年度は食品表示法に対応し、今後も、皆さんに美味しく、安全な、愛される製品を提供できるよう、取り組みでいきます。

30年度もパン工房のみんなで協力して、お客様のニーズに合った商品の提供に努めてきました。今年度は、一人ひとりの作業の丁寧さや日々の積み重ねを感じる一年でした。

パンの製造だけではなく、焼き菓子の詰め合わせも大切な仕事として定着しています。去年からお仕事をさせていたでいる、「輝くとちぎ人」の集いの記念品を今年も製造させていただきました。その他にも、各種団体から焼き菓子の詰め合わせの注文が多く、通常のパン作業にプラスしてお仕事は忙しく、充実した日々を過ごさせていただきました。

これも、大量の焼き菓子を目の前にしても変わらない利用者の丁寧さや真面目な作業態度と、崩れやすい焼き菓子を綺麗に包装する職人技があるからこそ、できるお仕事です。

また、今年は「大豆乃館」様と、協同して新商品として、おからケーキを開発しました。おかららしさがなく、しっとりとしたチョコケーキは大豆乃館の店舗でも好評です。

受注



30年度は新規の取引先も増えて、新たな作業の幅が広がっていくことを感じられた年となりました。

「ブレインアクトイベート協会」からセミナー講座で使用するテキストのラミネート加工を受注しています。子どもの発達に関して熱心にセミナーを開催している団体です。部数はまだ少ないのですが、単価が高いことから今後も継続して作業を受注して利用者の工賃アップに寄与できれば幸いです。

これまでの取引業者の縁で「興国インテック株式会社」との取引を開始しました。利用者は材料を切ったり、取り付けたりする作業を行います。通年で安定した作業が見込まれるため、今年は参加できる利用者を増やしていければと思います。

オリジナルプリントの作業では、「連合栃木」で使用するミニバッグのプリントを行いました。Tシャツへのプリントとは違った難しさもありましたが、試行錯誤の末、200枚のバッグを仕上げる事ができました。

今年度も地域の取引企業との関係を大切にしながら、通年にわたり作業が受注できるように努めて参ります。新たな作業を通じての利用者さんのスキルアップも図れるように多くの作業にチャレンジしていきます。

織物



30年度は、市役所の改装で「わく・わくショップ」の売り上げが大幅に減ってしまいました。かわちふるさとまつり」で地域の方々がたくさんお買い上げいただきました。また、昨年に続き市内の「百歳のお祝い」記念のトートバッグは、ボランティアさんの絶大な協力のもと、無事納品することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

織物班の利用者さんは、数年前から年齢を重ねる中で、動きがスローペースになっており、織りの作業量が減っています。その反物を製品にするボランティアさんも関わっていただけの時間が減ってきているので、新たに製品作りにご協力いただける方を探しています。

織りの「引き」の強さは一人ひとり違うので、全く手触りや風合いの異なる反物が出来上がります。固いものはコースターに、柔らかいものはマフラーに、これはスマホケースに、これはふくろうパッチにと、ボランティアの方々の協力を得て皆が織った反物を商品に仕立てあげています。

グループの織物を楽しみにしている方々が大勢いるので、その期待に応えつつ、織物班一人ひとりの最適な自立は何かを皆で話し合いながら、理想の形を追求できればと思います。

新規取扱商品の紹介



革新的な口腔ケア剤
「オーラルピース」

ご興味ある方は、ミニサンプル差し上げます。

オーラルピースは、虫歯菌、歯周病菌、肺炎球菌、カンジダ菌に有効で、しかも、飲み込んでしまっても安全な歯磨き剤です！

4月からの累計販売本数は2月末で480本。お買い上げありがとうございます！

よつば荘談話室

よつば荘は現在、男子3名・女子3名計6名で暮らしています。親元を離れての生活にも慣れ、仲間同士協力し生活を送っています。休日には、外出したり、買い物に行ったり、帰省する人と、思い思いに過ごしています。仲間と沢山の楽しいことを見つけ、体験しています。

「みんなで楽しく暮らしています。8月には、那珂湊に行き海鮮丼を食べました。とても美味しかったです。また、みんなでいきたいです」
(利用者さんの声)

グーフォを支えて下さっている方のご紹介

クラブ活動講師

- カワイ体育教室
大内由希子さん
- 音楽クラブ
松本 薫さん
- 絵画クラブ
大橋 史哲さん

作業ボランティア

- さぎ草ボランティアの皆様
- 林田 国博さん
- 福島 玲子さん
- 高野 純一さん
- 飯野 達央さん
- 山中 攸子さん
- 中野 滋さん

パン販売ボランティア

- 見目 勝義さん
- 羽生 恵二さん
- 河内地区民生委員
児童委員の皆様



保護者会より

平成30年度を振り返って

保護者会会長 郷間 ミツエ

日頃から事業所職員の皆様、保護者会の皆様には大変お世話になっております。

平成30年度の活動は、5月の福島・茨城方面の「宿泊訓練」。参加された皆様のご協力により楽しく無事終了。普段では見られない利用者の笑顔が印象的でした。9月奉仕活動。10月「グーフォ祭」での模擬店開催。11月「かわちふるさとまつり」にバザーでの参加。1月「新年会」。手作りのビンゴと職員による余興を楽しみました。施設充実費はアンケート・総会の議決により継続となりました。ご協力に感謝いたします。



▲保護者会の模擬店は大盛況でした

保護者会活動を通して利用者がグーフォ・かわちに楽しく通所できる一助になればと願っております。

編集後記

巷では「平成最後の～」そんな言葉が盛んに飛び交っています。もなく「平成」も終わり次の時代へ：今号の「ぐーふおだより」も平成最後の発行となります。

マスコミ等でも平成を振り返る機会が多くなっています。グーフォの開所も平成史の1つではないでしょうか。「平成」という時代に比べたら半分程の歴史ですが、多くの方々の努力や苦勞に支えられた過去があり、地道に歩んだ「ふくらう」の足跡でもあります。職員も利用者も「夢」に向かって築立っていった仲間もいました。グーフォに関わった全ての人の熱意や努力で作りに上げてきた歴史はまさに「宝物」です。

社会情勢や福祉制度、施設の体制等は常に変化していきます。新しい元号になる今年、新たな時代の幕開けにふさわしい体制で、これまでの経験を糧に「宝物」をより一層発展させていって欲しいと切に願います。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

